

平成21年度県民総合体育大会兼高等学校バドミントン新人大会 実施要項

1. 主催 埼玉県・埼玉県教育委員会・(財)埼玉県体育協会・埼玉県高等学校体育連盟
2. 主管 埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部
3. 期 日 平成21年11月20日(金)・21日(土)・22日(日)・23日(月)
8時30分開場(予定)
【11月20日 準備終了後、開会式 競技開始9時30分 団体戦決勝戦まで】
【11月21日 競技開始9時00分 複 5回戦まで】
【11月22日 競技開始9時00分 複 決勝リーグ戦、単 3回戦まで】
【11月23日 競技開始9時00分 単 決勝リーグ戦、競技終了後、閉会式】
4. 会 場 彩の国くまがやドーム 048(526)2004
5. 種 目 団体戦(男女 各学校対抗) 個人戦(男女 各個人対抗 単・複)
6. 競技規定 平成21年度(財)日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・公認審判員規程による。
平成21年度(財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具および第1種検定合格水鳥シャトルを使用する。(使用シャトルは各校持ち寄りとする。)
7. 競技方法 学校対抗 トーナメント戦方式とし、3位決定戦、場合により2位決定戦を行なう。
複2組・単3名で行ない、試合順序は複1・複2・単1・単2・単3で実施する。なお、単1は複1・2、単2・3と兼ねることはできない。
1対抗戦は、3マッチ先取とする。
監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は大会初日8:50までに、所定の変更届け出用紙を用いて本部に提出すること。それ以後の変更は、いかなる場合も認めない。
個人対抗 単・複を行ない、いずれも予選トーナメント戦方式及びベスト4による代表順位決定リーグ戦方式とする。
選手の変更は、いかなる場合も認めない。
8. 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒で、埼玉県高等学校体育連盟に加盟し、新人大会運営負担金を納入の上、参加資格を得たものとする。
監督・コーチ・マネージャー・選手は、(財)日本バドミントン協会に平成21年度登録完了済みの者とする。
平成3年4月2日以降に生まれたもので、18歳未満のものとする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は一回限りとする。
学校対抗は、男女とも新人大会地区予選会1~4位入賞校。
個人対抗は、男女とも学校総合体育大会県大会(全国高校総合体育大会県予選会)32位以上入賞者及び新人大会地区予選会16~18位(東部・西部・南部18位、北部16位)以上入賞者。
個人対抗においては、1校の出場者数の上限を単8名・複6組とする
チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の混成は認めない。

統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)但し、一家転住等やむを得ない場合は、埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部長の許可があればこの限りではない。

出場する選手は、予め健康診断を受け学校長の承認を必要とする。

参加資格の特例

ア.上記に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、埼玉県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途定める規定に従い大会参加を認める。

イ.上記のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

1.学校教育法第124条の134条の学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2.以下の条件を具備すること。

大会参加資格を認める条件

ア.全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ.参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ.各学校にあっては、埼玉県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ.各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

大会参加に際して守るべき条件

ア.埼玉県高等学校新人大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ.大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ.大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9.参加制限

学校対抗 ア.チーム編成は、1校1チームとし、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5~7名(同一校選手)とする。

ただし、外国人留学生の選手は2名以内とする。また、選手5名を欠いた場合は、チームとして認めない。

イ.外国人留学生の出場できる試合は、その出場人数(1名又は2名)にかかわらず、1対抗戦において1試合だけとする。

個人対抗 単・複とも監督1名のみとし、複の選手は同一校選手であること。

引率責任者及び監督・マネージャー

ア.引率責任者は、当該校の教員とする。

イ.監督・コーチは、学校長の認める指導者とし、それぞれ外部指導者の場合は、障害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入するを条件とする。

ウ.マネージャーは、当該校の教職員または生徒とする。

11. 申し込み 所定の大会参加申し込み書に記入・捺印の上、平成21年10月29日(木)【必着】までに、埼玉県立所沢西高等学校 上田敏之
【〒359-1155 所沢市北野新町2-5-11】04-2949-2411宛に申し込むこと。
【申し込みの際には『新人大会 参加申し込み書 在中』と朱書する。】
個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
11. 表彰 優勝校・者に優勝杯(持ち回り)と賞状を、ベスト4入賞校・者に賞状を授与する。
12. 組み合わせ 平成21年11月6日(金)14時00分~ 埼玉県立スポーツ研修センターで行なう。
埼玉県上尾市東町3-1679 【048-774-5551】
学校対抗は、出場校顧問による組合せ抽選会において行なう。
個人対抗は、埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員の責任において行なう。
13. 試合進行等 すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。各ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。また、指示・助言は2人までできる。主審が20秒とコールしたらコートを離れるものとする。
- 学校対抗 試合進行等の遅れなどにより、試合を並行して行なう場合もある。
並行して試合を行なう場合、複と単に同一選手が出場する時は10分間の間隔を与える。
同一校が連続して試合を行なう場合には、前試合が終了後15分間の間隔をおいてから次試合を始める。
- 個人対抗 同一選手が連続して試合を行なう場合には、前試合が終了後、15分間の間隔をおいてから次試合を始める。
代表順位決定リーグ戦において、前試合を棄権した者は、そのリーグ戦の以後の試合は棄権扱いとする。
代表順位決定リーグ戦の順位決定は、 勝敗 得失ゲーム差
総得失点差
【 ~ までで2名・組が残った時】該当者どうしの勝敗
【 ~ までで3名・組が残った時】該当者どうし中で ~
の順に戻って行なう。
- 練習時間 それぞれ試合前に下記のとおり行なう。
1日日 学校対抗出場者 各対戦前、2分間ずつ行なう。
2日日 個人対抗(複)出場者 2回戦まで2分間ずつ行なう。以後は練習なし。
3日目 個人対抗(複)出場者 リーグ戦初回戦のみ2分間ずつ行なう。以後は練習なし。
個人対抗(単)出場者 2回戦まで2分間ずつ行なう。以後は練習なし。
4日日 個人対抗(単)出場者 朝の指定時間のみ行なう。以後は練習なし。

14. 連絡事項
- (1) 大会運営負担金は、地区予選を経ずに新人大会に出場する場合も地区予選時に納入すること
 - (2) 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(財)日本パドミントン協会の審査合格品とする。
 - (3) 出場選手は、上衣の背面中央に必ず高等学校名及び県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。
(判別しにくいものについてはゼッケンを使用してもらう場合がある)
【上段：学校名(やや大きく) 下段：県名】
ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm・横30cmの大きさを基準とする。
(ゼッケンの場合、文字の色は黒色又は濃紺色とする。)
 - (4) 敗者審判制で行なう。
 - (5) 選手・生徒は、必ず当該校引率責任者(当該校教員)によって引率され、引率責任者は、選手・生徒の行動に責任を負うものとする。
 - (6) 今大会での学校対抗優勝校と準優勝校は、平成21年度全国高等学校選抜大会に出場できる。
今大会での個人対抗(単・複)1~2位入賞者は、平成21年度全国高等学校選抜大会に出場できる。ただし、外国人留学生の出場は、各都道府県ともに男子・女子各1複・1単、以内である。
 - (7) 今大会での学校対抗1~4位入賞校は、平成22年度学校総合体育大会(団体戦)地区予選会を経ずに関東大会県予選会に出場できる。
 - (8) 今大会での個人対抗(単・複)ベスト16位入賞者は、平成22年度学校総合体育大会(個人戦)地区予選会を経ずに学校総合体育大会県大会(全国高校総合体育大会県予選会)に出場できる。
 - (9) 当該校引率責任者(当該校教員)は、毎朝必ず受付(本部席横)をすること。
 - (10) 団体戦出場校の引率責任者(当該校教員)は、開会式に参列をすること。
2日目・3日目の朝も、諸注意があるので、監督・選手は必ず朝から参加すること。
 - (11) 開会式に参加する選手(団体戦出場者)の服装は、ユニフォーム又は競技時のものとする。
 - (12) 団体戦(学校対抗)・個人戦(個人対抗)は、コーチングシートを設ける。
 - (13) マッチ中、選手の水分補給を認めるが、必ず主審の許可を得ること。(クーラーボックスのベンチ持ち込みは禁止)容器は倒れてもこぼれないスクイズボトル、プッシュ・プル・キャップボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れること。
学校対抗の折り、ベンチでの水分補給を認めるが、床を濡らさないこと。
 - (14) 氷嚢はクーラーバックに入れ、ベンチ及びコーチングシート付近に持ち込むことを認める。